



梅本優鷹

～ はたちの主張 ～

まず、私たちの20歳という節目に「はたちを祝う式典」を無事行っていること、ご臨席の皆さま、関係者の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、20歳を迎え将来のことを考える機会が増えてきましたが、皆さんの夢はなんでしょうか。私の将来の夢は農業という、警察官や消防士のような格好いい職業ではありません。また医師や、弁護士のような稼げるような職業でもありません。しかし、彼らを支えているのは食事です。皆さんが健康にそして安心して食べられる野菜を作れるような農家に私はなりたいと思っています。

さて、私を知っている人はなぜスピーチをしているか疑問に思うでしょう。正直私もびっくりです。私は生徒会長や、委員会は積極的に手を挙げず、誰かがやるので大丈夫だといつも逃げていました。しかし今回はたちの主張のスピーチの話をいただき、自分のできるわけないと思っていましたが、断ったら後悔するなと思い、チャレンジしてみようという気持ちでこの場に立ちました。皆さんは今の私のようにいろんな経験をしていくことでしょう。職場や大学、日常生活、その中でたくさんの選択肢に出会うと思います。私のよ

うに想定外のことだって起こりうるということがあります。その時に皆さんはどういった判断をするでしょうか。断ることもチャレンジすることと同様に勇気がいることです。なので断ることがダメだとは思いません。しかし、ほんの一步前へ踏み出してみてください。その一歩が大きくなり、今までの自分を超えられると思います。皆さんで後悔のない人生を、夢に向かって共に歩んでいきましょう。

最後に、私たちを支え、育ててくださった家族や友人、地域の方々、そして教育を受けた先生たちに心から感謝の意を表します。皆さんの愛と励ましのおかげで、私たちはここまで成長することができました。これからも私たちは社会の一員としての責任を自覚し、またこの式典を新たなスタートとして、成長していけるよう、これをはたちの主張とします。

令和6年3月17日 梅本優鷹